

BEST サポート! 特色と充実したサポート体制

ジェイ スクラム
J☆SCRUM 佐賀県海洋エネルギー産業クラスター研究会
Japan Saga aiming to industrial Cluster Renewable Use energy of Marine
 佐賀県は、産業クラスターを軸に、海洋エネルギー産業を目指します。

産業界、学術機関、官公庁、金融機関が緊密に連携して、海洋エネルギー施策のワンストップサポートを実現し、研究開発、実証実験等を促進することにより、佐賀県に関連産業の集積、海洋エネルギー産業クラスターの形成を目指すため、平成27年12月に発足した組織です。



ワンストップサポートセンター

国内初 **MATSRA**
 Marine Test Site for Renewable-energy Asia

「実証フィールド」をご利用の際は、ご相談ください。 **視察もOK**

漁業、エネルギー、産業界などで役員を構成 事務所：唐津市
 国の実証フィールドの運営管理と併せ、持続的な水産業の基礎研究や科学技術の振興などの活動を通じ、公益の増進や地域社会の発展に寄与することを目的として設立された団体です。
 まつら：魏志倭人伝では現在の佐賀県唐津市を中心とした地域を「末ら国」と記されています。名称は英語表記の頭文字から「まつら」と呼称。
実証フィールドを遠隔監視する体制を整備し利用ガイドラインを策定中!

佐賀大学海洋エネルギー研究センターIOES



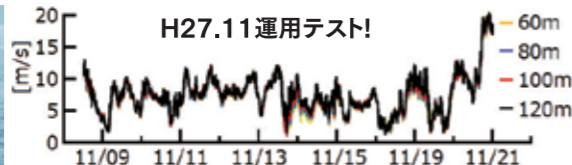
研究開発拠点
 国内の海洋エネルギーに関する共同利用・共同研究拠点として、国の認定を受けており全国の大学等の研究者からの共同利用研究を受け入れ、その研究をサポートしています。



ライダーブイ 気象・海象観測機器

国内初

仕様
 外形寸法：直径2.8m×全高6.3m×水面高2.8m
 重量：1.6t
 計測データ：風速、波高、潮流等
 ライダー：高度12.5~300mまで風況観測可能
 製造：Fugro OCEANOR社



実証機用係留チェーン・アンカー

ひと足伸ばせば
 見どころ満載!

実証フィールド周辺の見どころ!



玄界灘は新鮮な海産物の宝庫!



海が生まれ出すエネルギーを知ってみよう!

専用WEBサイトへアクセス!

<http://www.pref.saga.lg.jp/UMIENE.html> 海エネ佐賀 検索



「海からエネルギーを作る時代の到来」を地元住民の熱演で紹介する短編ドラマ!

動画配信中! YouTube 超巨大イカ 呼子 検索

お問い合わせ



佐賀県 佐賀県 労働産業部 新エネルギー産業課
<http://www.pref.saga.lg.jp/>
 tel.0952-25-7380 fax.0952-25-7369
 umiene@pref.saga.lg.jp



特定非営利活動法人 MATSRA
 tel.0955-72-1458 fax.0955-72-1458

KARATSU

YOBUKO

NAGOYA OHASHI

YOBUKO OHASHI

HATO MISAKI

KODOMO

YOBUKO ROJJI

TAJIMA SHRINE

KABESHIMA

SUGINOHARA

TAKASHIMA

USUSHIMA

UMIENE

エネルギー先進県SAGA

KARATSU-KABESHIMA
 SAGA-JAPAN

~エネルギーとともに~

江戸 明治 大正 昭和 平成

炭鉱 水力 太陽光 メガソーラー 水素 実証フィールド

陸上から海へ!
 UMIENE 時代へ

BESTマッチング!

「地元漁協との協力体制」を確立した
“佐賀方式”で国の実証フィールドに選定!

国の実証フィールドに選定されるまでに、協議会の会長を、全国で唯一、漁業者代表が務め、海を熟知した地元漁協の協力のもと海域を漁業者から推薦してもらう等の**“佐賀方式”**での海洋再生可能エネルギーの実用化に向けた取組を行いました。

◎これまでの佐賀県の歩み

- 平成23年夏～ ▶ 佐賀大学海洋エネルギー研究センターと調整
- 平成23年12月 ▶ 玄海漁業協同組合連合会、漁業協同組合と調整
- 平成24年 3月 ▶ **海域選定(漁業者推薦)**
- 平成24年 6月 ▶ 海域の実測調査
 ～平成25年3月
- 平成24年 7月 ▶ 協議会設置・検討スタート

It's「佐賀方式」

- ・海域を漁業者から推薦
- ・全国で唯一、漁業者代表が協議会会長を務める



- 平成24年11月 ▶ 先進地視察
- 平成26年 2月 ▶ 国へ「実証フィールド」誘致のため佐賀県プラン提案



佐賀県プランとは

海洋再生可能エネルギーの実用化と海洋産業の育成を通じた地域振興を目指す有効な対策として協議会(全11回)で策定。

- 平成26年 7月 ▶ **国の実証フィールドに選定**
- 平成26年 8月 ▶ 第9回再生可能エネルギー世界展示会出展



国内・外から多くの企業、研究者が来場

- 平成26年 9月 ▶ 推進協議会設置・実証フィールド運営管理検討
 ▶ 海エネ産業創出・地域活性化検討



- 平成26年12月 ▶ 実証フィールド運営主体設立総会
 ▶ 海エネ産業クラスター形成準備
- 平成27年 3月 ▶ **実証フィールド運営主体「MATSRA」設立**

- 平成27年 6月 ▶ 佐賀県知事が佐賀大学(IOES)視察



- 平成27年 7月 ▶ 海エネ産業推進事業(地方創生事業)
 ▶ 第10回再生可能エネルギー世界展示会出展



- 平成27年11月 ▶ 気象・海象観測機器整備

- 平成27年12月 ▶ **「J☆SCRUM」設立**
 ▶ 遠隔管理システム整備

佐賀県 海洋再生可能エネルギー

唐津市加部島沖は、国の実証フィールドに選定されています。

国の実証フィールドに選定!

SAGA BEST FIELD

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kaiyou/energy/201407/testfield20140715.html>



実証フィールド

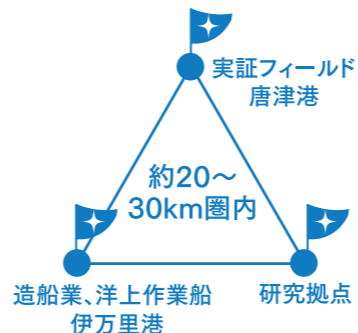


BESTフィールド!

◎実測調査値
 ■海上の風力/月平均風速7m/s
 ■潮の流れ/最大流速1.7m/s
 水深/20m以深 50m以浅

BESTポジション!

周辺には、洋上作業船保有企業や造船所、佐賀大学海洋エネルギー研究センターIOES(国内唯一の海エネ研究開発拠点)などがあり交通アクセスも良く絶好のポジションです。



◎実証フィールドとは、発電装置の性能や耐久性を海域で実証する場所

BESTパフォーマンス! 海洋産業創出・地域振興へ



トピックス 佐賀県とエネルギー

佐賀県唐津地区は、約300年前からエネルギーとともに産業が育った地域です。江戸時代を経て、明治時代の炭鉱王・高取伊好に代表される石炭産業から、電力事業、風力などの自然エネルギー、そしていよいよ陸上から海へ海洋再生可能エネルギーへの挑戦が始まっています。

唐津炭田(からつたんでん)
 佐賀県北部～西部に分布していた炭鉱群。国内有数の炭鉱に成長し、沿線の石炭を運ぶための鉄道、唐津興業鉄道が開通。それに伴い、唐津港はますます貿易拠点、工業都市としての重要性を増し、唐津市の産業は大いに発展しました。旧唐津銀行や旧高取邸など当時の面影を残す建築物がその隆盛を今に伝えています。

風車
 玄界灘からの強風にさらされる唐津周辺では、各所で「風車のある景観」が見られます。

そしていよいよ、陸上から海へ……